令和6年度 医療依存度の高い患者の在宅療養に関わる看護職支援事業 対面型研修 プログラム

研修名	研修目的	研修目標	研修 方法	研修日時 必要時間	研修場所(定員数)	担当者
1. ストーマ患者のケア	*対象者:オンデマンド配信「Ⅲ-3.ストーマ患者のケストーマ(人工肛門・人工膀胱)管理の基本的なケア方法が分かる	ア」の動画を事前に視聴可能な方(事前の視聴は推奨です) ① ストーマケアの基本が分かる ② 管理困難なストーマケアのポイントがわかる	講義演習	10月11日(金) 14:00~16:30 約150分	東病棟12階 セミナー室2 (定員10名)	増田・未散
2. 人工呼吸器の仕組みとフィジカルアセスメント	*対象者:聴診器を持参可能な方 人工呼吸器管理の基本的な仕組みとフィジカルアセス メントを学ぶ	①陽圧管理と自然呼吸の違いを理解し、必要な知識を習得する ②人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環について理解できる ③人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環の情報を収集しアセスメントする ことができる	- 講義 演習	10月22日(火) 10:00〜12:00 約120分 休憩含む	中央診療棟 7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員10名)	田中 貴子 片岡 早希子
3. がん性疼痛における医療用麻薬の管理 (皮下注射の穿刺、PCAポンプの操作を含む)	可能な方(事前の視聴は推奨です) 終末期がん患者の身体症状をアセスメントし、症状緩	ア」「II-2-e.がん性疼痛における医療用麻薬の管理」の動画を視聴 ①医療用麻薬の適切な使用・管理方法について理解し、実践につなげることができる ②皮下注射の安全な穿刺について理解し、実践につなげることができる ③PCAポンプの操作について理解し、実践につなげることができる	講義演習	11月7日(木) 14:30~16:30 約120分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員15名)	前田 望花 坂口 まみ
4-1. 感染対策の基礎 a. 標準予防策	*対象者:対面型研修「4-1. 感染対策の基礎」「4-標準予防策が理解できる	2. 感染対策の応用」を通して受講可能な方 ①標準予防策の項目を知ることができる ②標準予防策を実践できる	講義	11月8日(金) 9:15~9:35 約20分	東病棟12階 セミナー室2 (定員20名)	藤本 陽子
b. 手指衛生	手指衛生の必要性、タイミング、正しい方法が理解できる			9:35~9:55 約20分		手塚 美奈
c. 感染経路別予防策	感染経路別予防策が理解できる	①3つの感染経路別予防策(接触・飛沫・空気)の違いがわかる ②上記に必要な個人防護具を選択できる		9:55~10:25 約30分		吉田 真由美
4-2. 感染対策の応用 a. 手指衛生と個人防護具の演習	適切な手指衛生、状況に応じた個人防護具の選択及び 患者にも自身にも安全な着脱方法が理解できる	①正しい手指衛生を実践できる ②必要な個人防護具の選択ができ、正しい着脱方法が実践できる		11月8日(金) 10:35~11:05 約30分		藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
b. 事例検討	自施設でできるベストな感染対策がわかる	事例・グループワークを通じて必要な感染対策を考えることができる		11:10~12:00 約50分		古田 具田夫
5. 家族ケアに活かすアセスメント (事例検討)	*対象者:家族ケアに関してお困りの事例がある方、フォンデマンド配信「Ⅲ-5.家族アセスメント家族ケアにおける困難事例を共有し、介入方法を検討することができる	マセスメント方法について学びたい方」の動画を視聴可能な方(事前の視聴は推奨です) ①家族アセスメントに必要な情報を理解することができる ②困難事例の問題点を整理し共有することができる ②困難事例への家族ケアを検討できる	- 講義 グループワーク	11月12日(火) 14:00~15:30 約90分	東病棟12階 セミナー室 2 (定員15名)	江田 由美子 市川 麻紀 荻堂 盛大
6. 在宅での褥瘡ケア	*対象者:在宅での予防的スキンケアや処置方法などに	ついて学びたい方、褥瘡ケアに関してお困りの事例がある方 ①高齢者の予防的スキンケア ②在宅での褥瘡ケアの基本がわかる ③褥瘡と間違いやすい皮膚疾患がアセスメントできる 	- 講義 グループワーク	11月22日(金) 14:00~16:00 約120分	東病棟12階 セミナー室2 (定員6名)	原野 寿子
7. 摂食嚥下スクリーニングと食事形態の検討	*対象者:オンデマンド配信「V-4.摂食・嚥下リハビ! 嚥下スクリーニング・嚥下評価の実践を行い、適切な 食事形態の検討ができる	リテーション、気管切開の管理」の動画を視聴可能な方(推奨です) ①嚥下スクリーニング方法を理解し実践できる ②食事中の嚥下評価を行い、適切な食事形態を検討できる	講義演習	11月26日(火) 13:00~15:00 約120分	中央診療棟 7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室 (定員10名)	稲本 知代